

しせき
史跡 さかろ まつ
逆櫓の松

げんべいがっせん
源平合戦の故地
こち

(所在地) 福島二丁目二一四 マンション敷地内



【碑文】

(正面) 逆櫓の松址

(裏面) 大正十五年四月 福島史談会



平安時代末期の元暦2年・寿永四年(一一八五)二月、源頼朝から平家追討の命を受けた源義経が摂津国渡辺津に軍を集めた。

『平家物語』によれば、源義経と梶原景時が、この地の大きな松の木の下で軍議をした。景時は、「船のへさきにも櫓ろを付けて、どの方向にもたやすく回転できるようにしたい」と進言するも、義経は「はじめから逃げることを考えては縁起えんぎが悪い」と景時の意見を退けたといわれる。(このことより 逆櫓の松と言われた。)

現在の松は新しく植えられたものだが、江戸時代の『摂津名所図会』には立派な松が描かれている。